

次期総合戦略の策定について

- 1 委員会における議論のステップ
- 2 現行の総合戦略の振り返り
- 3 次期総合戦略の策定の考え方
- 4 次期総合戦略の策定の進め方

1 委員会における議論のステップ

第1回 (R7.5.29)

- ・次期総合戦略の策定について
- ・次期総合戦略の構成について
- ・次期人口ビジョンの策定について

⇒策定にあたっての考え方、スケジュールの説明等

第2回 (R7.7月)

- ・次期総合戦略（素案）について
- ・次期人口ビジョン（素案）について

⇒計画内容や、設定指標等の審議

第3回 (R7.8月)

- ・次期総合戦略（案）について
- ・次期人口ビジョン（案）について

⇒これまでの議論等を踏まえ計画をとりまとめ

※ 議題については予定含む

2 現行の総合戦略の振り返り (1 / 2)

(1) 指標進捗率による定量的評価

基本目標	全指標数	令和5年度					
		対象指標数	A	B	C	D	指標進捗率(A・B)
1 豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする	12	10	3	1	2	4	40.0%
2 本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる	10	10	8	0	0	2	80.0%
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	7	7	1	0	2	4	14.3%
4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	8	8	3	0	1	4	37.5%
計	37	35	15	1	5	14	45.7%

- 主な高評価の指標
- ・従業員1人あたりの付加価値額
 - ・遊休不動産の利活用件数
 - ・人口の社会増減数
 - ・子育て支援モバイルサービス登録者数

- 主な低評価の指標
- ・農業産出額
 - ・観光入込客数
 - ・合計特殊出生率
 - ・婚姻数

2 現行の総合戦略の振り返り (2 / 2)

(2) 基本目標ごとの振り返り

【基本目標 1】豊かな地域をつくとともに、安心して働けるようにする

産業・商業等の分野においては、進捗率が高い指標が見られる一方、労働・農業等の分野においては全体的に低い状況となっており、引き続き、取組の推進が求められます。

【基本目標 2】本市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる

目標全体の進捗率が比較的高い水準であり、また近年、人口が社会増となっているなど、移住定住促進の取組等について、成果が表れていると考えられます。

【基本目標 3】結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標全体の進捗率が低い状況であり、特に全国的な課題であるものの「婚姻数」や「合計特殊出生率」等の進捗率が低く、婚活支援や子育て支援等に係る取組のさらなる推進が求められます。

【基本目標 4】人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

文化・スポーツ分野においては進捗率が高い指標が見られ、また「ふるさと納税寄附金額」については大幅な増加が見られるなど、一定程度の成果が表れている一方、交通分野や防災分野等での取組の推進が求められます。

(1) 策定の背景・目的

- ・わが国においては、**少子高齢化の進行**とともに**人口減少時代**に突入しており、社会全体が縮小し、**国内市場の売り上げ減少**や**人手不足の深刻化**、**社会保障制度の崩壊**等の様々な問題の発生が懸念されています。
- ・本市においても、**平成17（2005）年の79,454人をピーク**に人口の減少局面に入っており、今後、将来的な人口は大幅に減少し、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）に準拠した推計によると、**2070年には約4万人まで減少**すると予想されています。
- ・このような状況に対し、本市の持続的な発展に向けた取組を推進するため、平成27年に地方創生に向けた取組の方向性等を示した「館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、長期的な視点で人口を展望する「館林市まち・ひと・しごと人口ビジョン」を策定したところであり、さらには令和3年に「第2期総合戦略」及び「第2期人口ビジョン」を策定し、取組の強化を図ってきました。
- ・このよう中、「第2期総合戦略」の計画期間が令和7（2025）年度をもって終了することから、**「次期総合戦略」及び「次期人口ビジョン」の策定を行う**ものです。

(2) 策定の考え方

・「次期総合戦略」の策定にあたっては、地方創生に係る「人口減少対策」や「持続可能なまちづくり」は市政運営において重要な課題となっているため、現在、策定を進めている**本市の最上位計画である「館林市第6次総合計画（後期基本計画）」の検討に合わせ、一体的に検討し策定します。**

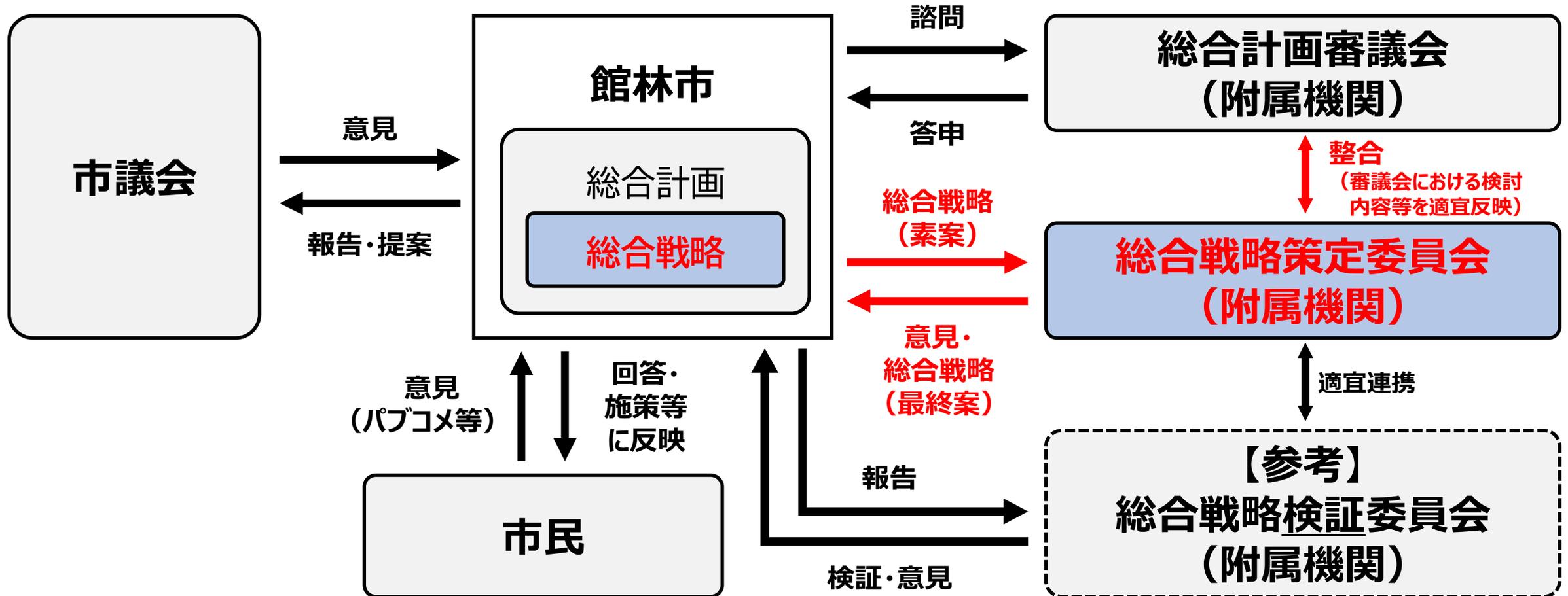
・内容の方向性としては、「館林市第6次総合計画（後期基本計画）」において重要テーマとして位置付けた「人口減少対策」を念頭に掲げつつ、国が各地域の社会課題解決や魅力向上を図るために必要と示す、

- ①**地方に仕事をつくる**
- ②**人の流れをつくる**
- ③**結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
- ④**魅力的な地域をつくる**

の4つの目標が達成できるよう、**それらの取組の下支えとなる「デジタルの力の活用」**も盛り込みながら、本市の実情等を勘案した内容としていきます。

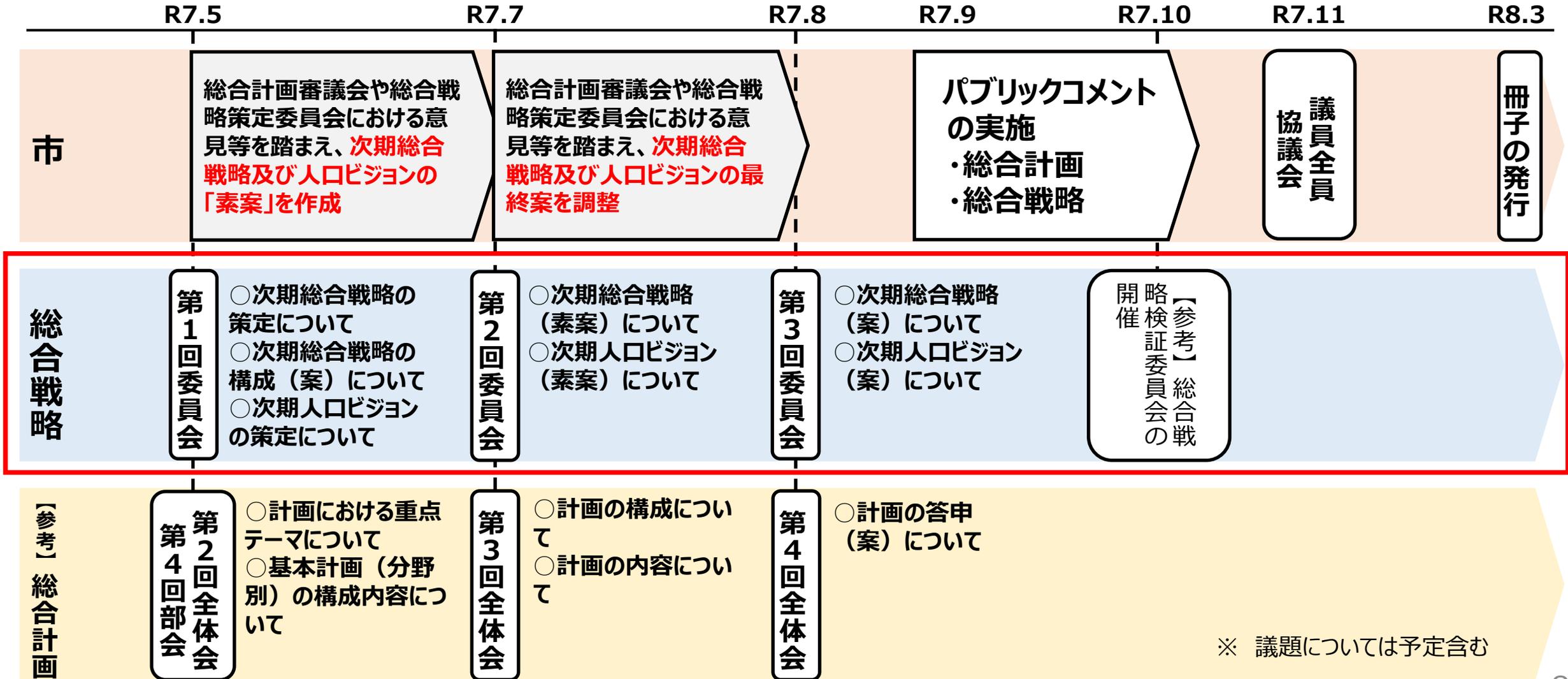
4 次期総合戦略の策定の進め方 (1 / 2)

(1) 策定体制



4 次期総合戦略の策定の進め方 (2 / 2)

(2) 策定スケジュール (予定)



※ 議題については予定含む